

みき通信

日本共産党 町議会議員
くぼたみき 活動報告



第64号 2016年11月30日

発行 がんばれ くぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

国民を置き去りにして、安倍政権はどこへ？

注目された米国の大統領選は、大方の予想に反して民主党のヒラリークリントン前國務長官を破り、共和党のドナルド・トランプ氏が当選を果たしました。

移民やイスラム教徒を敵視し、女性や障害者など少数派をあざけるトランプ氏の言動は米国社会の深刻な分断をあおり、批判されています。しかし、それを上回る貧困と格差の拡大、多国籍企業と富裕層優遇政治への強い不満や怒りが「アメリカ第一」という彼の主張を支持したとみられています。

TPPからの撤退を訴えたトランプ氏は正式にTPP離脱を表明し、発行の見通しのないTPP（環太平洋連携協定）問題。自国民の利益を守れない内容に各国で反対の声が上がり、TPPを批准した国は皆無という中で、自公政権は国会ルールを無視してTPP特別委の開会を強行し、衆院本会議採決に強引に持ち込みました。参院でもTPP推進に固執する異常さです。

また、ニューヨークの国連本部で、核兵器禁止条約の制定交渉開始を定めた決議が、国連の加盟国の約3分の2（123ヶ国）が賛成して採択されましたが、これまで棄権していた日本政府は反対に回りました。更に安倍首相は11月11日、核保有国であるインドへ原発輸出を可能にする原子力協定に署名しており、日本は被爆国としての道義的な立場、地位まで失いつつあります。

世界は今、「格差拡大の是正」「自由貿易の見直し」が大きな流れとなり、「核兵器のない世界」を目指しています。この世界の変化が見えず、財界の意を汲んで米国の顔色ばかりうかがっている安倍自公政権は、世界の笑いものになるといわれています。

TPPの他、沖縄や原発の問題、自衛隊の南スーダン派遣など、国民の声を無視して強引に進める異常な安倍政権に、反対の声を上げ続けましょう。

「すべての子どもたちにスポーツを」

葉山町体育協会の思い

町議会議員 くぼた みき

11月24日、葉山町体育協会の方々と教育民生常任委員会のメンバーで意見交換会を行いました。この意見交換会は、これまでの一方通行ともいえる議会報告会ではなく「議会改革・開かれた議会へ」として初の試みです。

葉山町体育協会は昭和26年創立、もうすぐ75周年を迎えます。7つの将来ビジョンを掲げ「すべての子どもたちにスポーツを」と種まきをし「町民大会を支援しスポーツ人口を増やす」「加盟団体の活発化・団体を増やす」と現在21団体が加盟し、大人から子供まで楽しめる様々なスポーツ大会を開催。「特に姉妹都市草津町とのスキー・水泳教室のスポーツ交流は48回目を迎えました。町でどんなスポーツをやっているのかホームページで分かるよう「各団体の情報交換・共有と一元化」や「選手の育成とコーチの継承」と、優秀選手の表彰を総会で行っています。そして何より「町民だけでなく周辺地域の人も参加する大会が開催出来る計画を作りたい。国のスポーツ基本法の中に「地方公共団体の長は、地方スポーツ推進計画を定めるよう努めるものとする」とありますが、葉山では未だつられていません。形だけの計画ではなく現状を認識し、子ども達のため近未来に何を求めるか、目標となるスポーツ振興計画を作りたい」とのお話に体育協会の皆さんが葉山のスポーツ振興を支えてこられたと強く感じました。

また「葉山のこれからの体育振興をどう考えるか」という宿題が出され、私は施設ありきではありませんが「足腰に負担の少ないウォーキングプール」の話をしました。協会からは「避難場所となっている学校体育館は、土砂災害・津波被害が想定される場所もあり、体育施設と災害センターを兼ねた施設はどうか」「町民が何を望んでいるのか、議員が情報の発信・収集をやってみてほしい」「スポーツ団体に加入してほしい」など積極的な意見交換会となりました。

議会では、町民の方々と意見交換会に取り組んでいます。人数など一定の制約はありますが、議会事務局にお問い合わせください。